

かほる おおいだ 版

大分MSW広報誌

Vol. 37

<発行元>

大分県医療ソーシャルワーカー協会

平成24年6月4日 発行

目指すは逞しいMSWです



大分県医療ソーシャルワーカー協会 会長 野上 美智子

毎日慌しく過ごしていると月日が信じられない速さで過ぎていきます。私は定年まであと2年半です。協会の会長職を本年度で引き継ぎ、自分の組織内での仕上げをするのが私の人生設計です。「潔し」の最後を迎えるためには完成度を上げないといけないMSW部門の業務が沢山あります。

さて、18年前にMSWになった時、「どこで自分が学べば良いのか不安」な気持ちから協会に入りました。吉川先生、仲宗根さん、小峰さん、田嶋さん、小手川さん、佐藤さん、沼田さんの顔ぶれの先輩方がいらして、堤さんが私を広報部に誘ってくださって、協会活動に参加することになりました。それから研修部員・部長を経て理事となり、副会長・会長をさせていただきました。協会活動に参加することで、安心と安定を得ることができたことを今でも感謝しています。

その中でずっと願っていたのは、「自分が何を学べばよいのかという不安」を抱えないでよい体制づくりでした。生涯研修のようなシステムをイメージしていたのですが、スーパーバイザー研修が定着したのが精一杯でした。

今期、研修部が一年間を見通した計画を提示しています。まさに、私が長年望んでいたことが実現へ向かいます。今後、日本協会や社会福祉士会の研修との整合性を図り、たとえば5年間の計画・10年間の研修計画を会員が立てられるよう提示していく方向となるでしょう。会員の皆さんには、与えられる研修ではなく「自分から研修計画を立て賢く実力をつけていく」という姿勢で臨んで欲しいと願っています。

また、ネットワーク推進部によるMSW配置状況の調査を行いました。4月から新会員も20人近く増えています。県内のMSWの加入率100%に近い組織にしたいと考えています。会員の皆さんも非加入者を是非お誘いください。連携を強化して、県民の皆さん(クライアントは勿論)に有益な協会になりたいものです。

また、全国各県協会の共通課題であります協会の法人化は、多方面から考えると早急に取り組む必要があります。今年度の最大の課題となりそうです。その取り組みについてみなさんに提示できるよう理事会で協議していきます。

最後に、群馬での全国大会で見た、MSWの進むべき方向についてもどこかでお話できたらと考えています。どうやら我々MSWは、対クライアントというミクロな援助は勿論のこと、メゾからマクロの援助への展開が期待されているようです。「自身の力をつけましょう。組織の力をつけましょう」目指すは、逞しいMSWです。

平成24年度定期総会報告

平成24年度定期総会が4月28日(土)13時より大分県保健医会館にて行われました。議長は井野辺病院の佐藤豊秀さん、書記に湯布院厚生年金病院の稲積幸子さん、署名人に南山園の河村恒さんと大分東部病院の新谷美由紀さんが選出され進行されました。平成23年度の事業報告並びに平成24年度の事業計画案・収支予算案、また慶弔規程も含め全て承認をいただくことができました。昨年に引き続き、さらなる協会の発展と会員のみなさまへの支援体制づくりが望まれます。

総会終了後、2回目の診療報酬改定ワーキングチームによる研修が行われました。前回3月18日の3団体合同研修会の報告の続きと最新の疑義解釈(Q&A)の内容も盛り込んだ内容でした。後日、宮崎県協会より総会後の診療報酬改定研修会の講師依頼がありました。大分県協会の取り組みを宮崎県協会に知ってもらうよい機会と考え、5月19日に派遣しましたことを報告させていただきます。



H24年度総会



ワーキングチーム in 宮崎



- | | | |
|------------------------|--------------------------|--------------------|
| ✿ 竹之内 美智子（浜脇記念病院） | ✿ 修行 奈津美（児玉病院） | ✿ 竹尾 好行（大分中村病院） |
| ✿ 原田 みどり（大分中村病院） | ✿ 嶋崎 友美（大分中村病院） | ✿ 石川 浩一（鈴木病院） |
| ✿ 佐藤 実和（竹田医師会病院） | ✿ 矢岡 景子（和田病院） | ✿ 谷山 香菜恵（大分医療センター） |
| ✿ 佐藤 雪子（大分大学医学部付属病院） | ✿ 仲野 恵美（別府リハビリテーションセンター） | |
| ✿ 今村 智子（佐伯中央病院） | ✿ 河野 美春（高田中央病院） | ✿ 立川 江莉（仁医会病院） |
| ✿ 山本 琢也（大分豊壽苑） | ✿ 堀川 利恵子（佐伯中央病院） | ✿ 足立 大（小野内科病院） |
| ✿ 溝邊 佳恵（大分三愛メディカルセンター） | ✿ 工藤 大貴（大分三愛メディカルセンター） | |
| ✿ 篠田 真紀（大分三愛メディカルセンター） | ✿ 宮村 貴志（宇佐高田医師会病院） | |

<入会順>

平成24年度 各部紹介



研修部

研修部では 2012 年度の活動目標を①研修を通じて、患者・組織・地域から求められるMSWの育成に寄与する ②会員が自身の到達段階に応じた研修を選択し受講できる研修体制の構築 ③相談支援専門領域における「質の向上」を目的とした研修企画の立案と実行 ④認定医療社会福祉士取得に関わる、日本医療社会福祉協会への研修認定申請実施とし、年間を通じて様々な研修を企画いたしました。

私たちMSWは、その専門性の向上を常に追求し、そして最良の実践を行う責務があります。現在、大分県医療ソーシャルワーカー協会は、初任者から管理職までの 200 名を超えるMSWで構成されています。その個々の会員が自分自身のMSWとしての強みと弱さを理解し、更なる専門性の向上、質の向上の為に、より質の高い研修を会員の皆様に提供していきたいと、今年度は様々な専門領域からの講師陣も揃えました。

この研修を受けて頂く事で、実践現場において患者の最善の利益を提供でき、組織や社会がMSWを理解しそして組織や社会からその力を求められ、何よりMSWである会員の皆様がMSWとしてのやりがい、生きがいを見いださせていただける事を願い、研修部からのご挨拶とさせていただきます。

最後になりましたが、研修への多数のご参加お待ちしております。

学術部

学術部は、ソーシャルワークに必要な調査・研究を通し、会員のソーシャルワークの質の向上に資する活動を行っています。昨年度は、会員の意識調査をもとに、連携を行う際のツールとなる「ソーシャルワーカーの情報提供書式」の作成に取り組んできました。

今年度は、日々の業務を通してソーシャルワーカーの価値観、援助観について調査・研究を行い、協会員のソーシャルワーク実践に貢献できればと考えています。また、協会員の研究に対する興味、関心についても把握を行い研究に活かすことが出来るよう取り組みます。興味のある方は、ぜひ一緒に調査・研究に取り組んでみませんか！部員も随時募集をしています。

広報部

広報部は、会員はもとより、多くの方々に協会活動を広く知っていただくことを目標に活動を展開しています。主には『ホームページ』（以下HP）、『広報誌かはら版』を通じて会活動についての情報発信をおこなっています。

HPでは、『研修案内』『活動ギャラリー』のコーナーを中心にタイムリーな情報発信を心がけています。活動ギャラリーにおいては、活動状況をよりわかり易くお伝えできるように、多くの写真を掲載していますので、是非、アクセスしてみてください。なお、写真については、「綺麗で臨場感あふれる写真を！」と意識し、“一写入魂”の精神でシャッターを押しています。

広報誌かはら版では、HPとの差別化が課題ではありますが、会員の皆さんからの声を掲載していけるよう意識し、記事の依頼を行なっています。今後、広報部より記事の依頼があった際にはご協力の程、よろしくお願い致します。

ネットワーク推進部

ネットワーク推進部は、県内7圏域に部員を配置して、各圏域の活性化に取り組む、MSW同士が顔の見える連携づくりを目的に活動しています。医療機関によっては、MSW1人体制のところも見られ、そのために、業務や人間関係で悩みをお持ちになることが多々あるのでないかと思います。このような現状を踏まえ、県内のMSWが専門職としての力を発揮できるようにお手伝い出来たらと考えています。主な活動としては、各圏域に出向いての情報交換会の実施、MSW皆様の声(要望)をアンケートで調査し、それらのニーズを皆様へ還元する方法の検討、当協会と他団体の連携構築などがあります。そして、何よりも大分県のMSWが協会活動に関心をお持ち頂き、参加したいと思って頂けるような取り組みを続けていきたいと思っています。

これからもネットワーク推進部の部員全員で協力しながら頑張ります。よろしくお願い致します。

研修会報告

第60回公益社団法人日本医療社会福祉協会全国大会

第32回日本医療社会事業学会



繁田 聖子 (湯布院厚生金病院)

1月24日～26日の日程で行われました「第60回日本医療社会福祉協会全国大会 第32回日本医療社会事業学会」に参加しました。今大会で、私は「MSW間のフォロー体制について～7年間の取り組みを通して～」のテーマのもと発表を行いました。この発表は、担当以外のケースを対応するMSWと患者家族の援助関係に焦点をあて、どのような関係性の中で支援が行われるのかをまとめたものです。突発的な家族の来院や担当MSWが休みの時等、担当以外のケースにMSWが関わる機会がどの医療機関にもあると思います。関わりを持つ際、担当MSWと患者家族の今までの関わりの中で、どのような関係性を築いてきたのか、担当以外のMSWが関わる事で今後の支援にどのような影響を与えるのかを考え関わりを持つ必要性を深く考えることができました。今回の発表及び全国大会を通しての学びを今後のソーシャルワーク支援に生かせるよう日々の業務に取り組んでいきたいと思っています。



発表者の繁田理事 (左から3番目)



災害支援活動報告

交換等を行なうことで、自分自身がおかれている状況やソーシャルワーカーとして期待され・求められている役割は何か、また組織の一員として自分自身に何が出来るのかを振り返る良い機会になりました。そして、まだまだ学ぶことは多く、多面的な視点を持ちながら知識・技術そして人間性をさらに深めていきたいと改めて感じた有意義な二日間でした



杉本 佳子 (高田中央病院)

平成24年5月25日・26日に群馬県にて行われた第60回公益社団法人日本医療社会福祉協会全国大会、第32回日本医療社会事業学会に参加してきました。

今回の大会テーマは「共生社会をめざして～求められるソーシャルワーカーとは～」が掲げられ、各会場でさまざまな発表が行なわれていました。また、昨年度の開催が大分であったことを思い出し、時の経つ早さを感じつつ、新たな気持ちで大会に参加しました。

大会に参加し講演や実践報告を聴き、また、仲間との意見交

○理事会報告事項

- 2012/4/25 第1回理事会：天心堂 へつぎ病院
4/28 2011年度大分県医療ソーシャルワーカー協会定期総会：大分県保険医会館
5/30 第2回理事会：別府リハビリテーションセンター

<主な議題>

- ・事務局報告 4月新規入会11名・脱会者2名 5月新規入会10名・脱会者1名]
- ・会費未納者への納入催促
- ・各部会の活動報告 研修部、学術部、広報部、ネットワーク推進部、その他

○理事役員動向

- 4/24 地域リハビリテーション研究会「第1回運営部会」：割石担当委員
4/28 大分県呼吸療法認定士連絡会(講師)：野上会長
5/16 大分県リハビリテーション拡大会議：野上会長
5/16 ふくしまっ子応援プロジェクト実行委員会：井元理事
5/18 地域リハビリテーション研究会「第2回運営部会」：割石担当委員
5/19 宮崎県医療ソーシャルワーカー協会診療報酬改定研修会
：診療報酬・介護報酬同時改定ワーキングチーム(川野事務局長、今尾会員、
工藤会員、上條会員、友江会員)
5/24 第60回 公益社団法人日本医療社会福祉協会全国大会《2012年群馬大会》
第32回 日本医療社会事業学会：野上会長、甲斐副会長、井元理事
5/25 公益社団法人日本医療社会福祉協会全国大会 会長会：野上会長、甲斐副会長
5/26 公益社団法人日本医療社会福祉協会全国大会 都道府県研修担当者会議：井元理事
5/29 地域リハビリテーション研究会『第19回 役員会』：佐藤副会長



SWのうまいもん・みたもんのコーナー第5回



別府市のあらゆる場所から湯けむりが立ちのぼり、温泉の噴気に包まれた光景は有名かと思えます。そして、そのような噴気を活かした地獄蒸し料理も名物です。数年前には地獄蒸し工房といった食材を持ち込み、地獄蒸し料理を楽しめる蒸し場もオープンしています。また、ここ数年地獄で蒸したプリンが市内各地で販売されており、様々なプリンがあります。私のおすすめは明礬温泉岡本屋売店にある地獄蒸しプリンです。濃厚な味わいがクセになりますよ。別府での研修の際、お土産にプリンはいかがですか？

(別府リハビリテーションセンター 神河MSW)



■ 事務局

大分県臼杵市大字戸室長谷 1131 番地 1
(臼杵市医師会コスモス病院 地域医療福祉連携室内)

TEL 0972-62-5883

FAX 0972-62-8404

URL <http://oita-msw.com/>

Mail oita-msw@oita-msw.com

